



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 日本電通株式会社

コード番号 1931 URL <http://www.ndknet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上 敏郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 森本 恒雄

TEL 06-6577-4114

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	14,899	△8.1	△58	—	△1	—	△53	—
23年3月期第3四半期	16,208	3.3	124	△12.5	202	11.9	97	△38.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △25百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 36百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△4.23	—
23年3月期第3四半期	7.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第3四半期	14,122		8,352		59.0	
23年3月期	16,208		8,537		52.6	

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,336百万円 23年3月期 8,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,900	0.8	410	△20.2	480	△18.0	310	△19.2	24.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	13,428,000 株	23年3月期	13,428,000 株
24年3月期3Q	942,482 株	23年3月期	808,997 株
24年3月期3Q	12,555,564 株	23年3月期3Q	12,899,128 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手している情報に基づき判断した予想であり、実際の業績とは異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
四半期連結受注高及び完成工事高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復旧・復興や個人消費の持ち直しが見られるものの、欧州債務問題に端を発する海外経済の減速や円高の影響で生産や輸出が伸び悩んでおり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主な事業領域であります情報通信分野におきましては、光アクセス網の整備による次世代ネットワーク（NGN）サービスの拡大や、スマートフォン等携帯移動端末の普及により、超高速LTEサービスによる無線のブロードバンド化が活発化しております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、三本部体制により、当期目標を達成すべく、当期の重点施策を着実に遂行するよう努めているところであり、特に受注拡大につきましては顧客の投資ニーズを的確に把握した受注活動に注力しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、受注拡大に注力するも競争の激化や設備投資回復の遅れもあって、受注高は164億30百万円（前年同期比7.8%減）、売上高は148億99百万円（前年同期比8.1%減）といずれも減少いたしました。

一方損益面につきましては、経営基盤改革による生産性向上及び経費節減に努めたものの、売上高の減少や激しい受注競争による原価率の上昇もあって、営業損失58百万円（前年同期は1億24百万円の営業利益）、経常損失は1百万円（前年同期は2億2百万円の経常利益）、四半期純損失は53百万円（前年同期は97百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(通信エンジニアリング事業)

通信エンジニアリング事業における、受注高は90億58百万円（前年同期比10.3%減）、売上高は80億97百万円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益は4億40百万円（前年同期比31.0%減）となりました。

(ICTサービス事業)

ICTサービス事業は、受注高は61億79百万円（前年同期比3.5%減）、売上高は56億52百万円（前年同期比10.9%減）、セグメント利益は1億41百万円（前年同期比39.7%減）となりました。

(その他)

その他事業の受注高は11億92百万円（前年同期比9.7%減）、売上高は11億49百万円（前年同期比11.0%減）、セグメント損失は18百万円（前年同四半期は1億円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間末の財政状態は、総資産は141億22百万円で前連結会計年度末比20億86百万円の減少となりました。これは流動資産においては91億78百万円と、前連結会計年度末比21億94百万円減少し、固定資産が49億43百万円と、前連結会計年度末比1億7百万円増加したことによります。

流動資産の減少の主な要因は、「受取手形・完成工事未収入金等」が前連結会計年度末比24億57百万円減少したこと等であります。

固定資産の増加の主な要因は、「無形固定資産」が前連結会計年度末比2億26百万円増加したこと等でありです。

負債の部は57億69百万円で、前連結会計年度末比19億1百万円減少しました。内訳は流動負債で前連結会計年度末比17億51百万円減少し、固定負債で前連結会計年度末比1億49百万円減少しております。

流動負債の減少の主な要因は、「支払手形・工事未払金等」が前連結会計年度末比16億74百万円減少したこと等でありです。

固定負債の減少の主な要因は、「退職給付引当金」が前連結会計年度末比83百万円減少したこと等でありです。

純資産は83億52百万円で前連結会計年度末比1億85百万円の減少となりました。主な要因としましては、「利益剰余金」が前連結会計年度末比1億79百万円減少したこと等でありです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の52.6%から59.0%に増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点においては、平成23年11月11日に公表しました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,233,231	2,502,508
受取手形・完成工事未収入金等	6,181,299	3,723,857
有価証券	1,706,671	1,156,442
未成工事支出金	908,582	1,426,852
商品	35,494	38,141
材料貯蔵品	8,768	7,426
その他	304,608	326,918
貸倒引当金	△6,001	△3,773
流動資産合計	11,372,654	9,178,374
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,214,101	2,214,101
その他(純額)	1,103,450	1,038,729
有形固定資産合計	3,317,551	3,252,830
無形固定資産	130,957	357,869
投資その他の資産		
投資有価証券	976,839	972,685
その他	431,174	378,728
貸倒引当金	△20,530	△18,257
投資その他の資産合計	1,387,483	1,333,155
固定資産合計	4,835,992	4,943,855
資産合計	16,208,646	14,122,229
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,843,749	2,168,861
短期借入金	1,900,000	1,800,000
未払法人税等	17,026	9,154
賞与引当金	169,277	40,224
工事損失引当金	18,382	29,535
その他	487,489	636,773
流動負債合計	6,435,924	4,684,549
固定負債		
退職給付引当金	789,094	705,788
負ののれん	30,454	18,426
その他	415,185	360,626
固定負債合計	1,234,734	1,084,841
負債合計	7,670,658	5,769,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,493,931	1,493,931
資本剰余金	1,428,916	1,428,916
利益剰余金	5,845,663	5,666,326
自己株式	△242,700	△276,376
株主資本合計	8,525,810	8,312,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,978	88,786
土地再評価差額金	△88,194	△64,720
その他の包括利益累計額合計	△6,216	24,065
少数株主持分	18,394	15,976
純資産合計	8,537,988	8,352,839
負債純資産合計	16,208,646	14,122,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	16,208,069	14,899,643
売上原価	14,348,118	13,254,175
売上総利益	1,859,951	1,645,467
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	732,766	751,749
貸倒引当金繰入額	15,149	△2,314
賞与引当金繰入額	31,245	9,939
退職給付費用	24,975	29,623
その他	931,698	915,367
販売費及び一般管理費合計	1,735,836	1,704,365
営業利益又は営業損失(△)	124,114	△58,897
営業外収益		
受取利息配当金	36,463	34,692
その他	76,725	42,535
営業外収益合計	113,189	77,228
営業外費用		
支払利息	17,471	14,491
不動産賃貸費用	5,669	4,275
その他	12,001	1,500
営業外費用合計	35,143	20,266
経常利益又は経常損失(△)	202,160	△1,935
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,567	—
特別損失合計	17,567	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	184,592	△1,935
法人税、住民税及び事業税	20,537	14,985
法人税等調整額	77,195	38,729
法人税等合計	97,732	53,714
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	86,859	△55,650
少数株主損失(△)	△10,267	△2,502
四半期純利益又は四半期純損失(△)	97,127	△53,147

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	86,859	△55,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,043	6,892
土地再評価差額金	—	23,474
その他の包括利益合計	△50,043	30,367
四半期包括利益	36,815	△25,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,386	△22,865
少数株主に係る四半期包括利益	△11,570	△2,417

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通信エンジ ニアリング 事業	I C Tサー ビス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,571,390	6,345,576	14,916,967	1,291,102	16,208,069	—	16,208,069
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,908	1,650	4,558	176,675	181,234	△181,234	—
計	8,574,299	6,347,226	14,921,526	1,467,778	16,389,304	△181,234	16,208,069
セグメント利益又は損失 (△)	638,882	234,472	873,355	△100,652	772,702	△648,588	124,114

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、映像音響システムの設計・施工・保守・運用の事業、警備業および業務受託等の事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△648,588千円には、セグメント間取引消去17,073千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△665,661千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通信エンジ ニアリング 事業	I C Tサー ビス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,097,571	5,652,704	13,750,276	1,149,366	14,899,643	—	14,899,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,612	8,763	10,375	136,942	147,317	△147,317	—
計	8,099,183	5,661,467	13,760,651	1,286,308	15,046,960	△147,317	14,899,643
セグメント利益又は損失 (△)	440,835	141,286	582,121	△18,315	563,805	△622,703	△58,897

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、映像音響システムの設計・施工・保守・運用の事業、警備業および業務受託等の事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△622,703千円には、セグメント間取引消去15,580千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△638,284千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

四半期連結受注高及び完成工事高の状況

(単位：百万円)

	部 門 別	平成23年3月期 第3四半期連結累計期間		平成24年3月期 第3四半期連結累計期間		比較増減	増減率
		金 額	構成比	金 額	構成比		
受 注 高	通信エンジニアリング事業	10,099	(56.7%)	9,058	(55.1%)	△1,040	△10.3%
	I C Tサービス事業	6,406	(35.9%)	6,179	(37.6%)	△226	△3.5%
	報告セグメント計	16,505	(92.6%)	15,238	(92.7%)	△1,267	△7.7%
	そ の 他	1,320	(7.4%)	1,192	(7.3%)	△127	△9.7%
	合 計	17,825	(100.0%)	16,430	(100.0%)	△1,395	△7.8%
売 上 高	通信エンジニアリング事業	8,571	(52.9%)	8,097	(54.3%)	△473	△5.5%
	I C Tサービス事業	6,345	(39.1%)	5,652	(38.0%)	△692	△10.9%
	報告セグメント計	14,916	(92.0%)	13,750	(92.3%)	△1,166	△7.8%
	そ の 他	1,291	(8.0%)	1,149	(7.7%)	△141	△11.0%
	合 計	16,208	(100.0%)	14,899	(100.0%)	△1,308	△8.1%